

## 賛成討論

自由民主党吉川市議員団

山崎勝他

平成22年度吉川市一般会計予算は、総額170億500万円、前年度比9.1%の増となっている。歳入で、市税が大幅に減収となった、対前年度比で約2億1千500万円の減額、一方臨時財政対策債を含めた地方交付税は対前年度比、4億5千万円の増額で補てんされている。歳出の個別事業は、公共施設の民営化、市民交流センターおあしす、市立図書館、視聴覚ライブラリー等、移行後は、適正な施設の管理運営を確保するため、指定管理者の評価方法について研究を進めていただきたい。子どもたちの安全な教育環境では、三輪野江小学校校舎と体育館及び南中学校体育館の耐震補強、大規模改修工事に続き、小学校5校の体育館耐震診断が実施されることは、早期の耐震化に向けて、果敢で迅速な対応が図れたもの、大いに評価しています。環境教育の推進で、北谷小学校と南中学校に太陽光発電が導入

されました。未来を担う子どもたちが、地球とともに育っていきけるよう環境教育に役立てていただきたいと思えます。福祉関係で、(仮称)吉川第2フレンドパークが、4月から開設されます。今後とも、高齢者や障がいのある方が地域の中で、安心して暮らすことのできる社会の構築を望んでいます。土木関係で、生活道路の舗装において、新栄地区の全22路線が平成22年度に道路改良工事が完結されますことは、市民に喜ばれることと存じます。商工業の育成に、ラッピーカードの増額補助が2年目を迎えます。今後も、こうした社会潮流に合った迅速な対応に心掛けていただきたいと思えます。新駅及び武蔵野操車場跡地は、他市との区別化を図る上で、市長のリーダーシップのもとビジョンを持って魅力あるまちづくりにまい進していただくことを願っております。第4次総合振興計画にふさわしい住みよい街づくりに向けて、市政運営に取り組んでいただきますようお願いいたします。賛成討論といたします。

## 賛成討論

市民改革クラブ

伊藤 正勝

世界同時不況。財政難。そして政権交代。▽国、県主導の景気、雇用対策。福祉、教育の施策。▽吉川市の予算はそれを市民に根ざし、現場に植えつける役割。▽22年度予算は14億5千万円の「子ども手当」をはじめ、20億円にのぼる小、中学校の耐震、大規模改修(21年3月補正からの通算)、身近な市道の整備・改修やおあしすの「民営化」など活用に工夫し、この事態に向き合っていると受けとめ賛意を表明する。その上で以下3点の留意と注文をしたい。  
①報酬、給与、各種予算は全て公金であり税金。相対的貧困、格差の広がり。その一方で税徴収強化。差押えは500件をこえる。▽引き締まった姿勢で効率的、効果的執行と取り組みをお願いしたい。②「子ども手当」の支給(1万3000人余)に万全を期し、保育所待機児童(103人)解消については、定員枠にとらわれず、的確で

柔軟な受け入れを。あわせて旧吉川保健所の有効活用を検討を求めたい。③緊急雇用対策については(21年度65人、22年度15事業79人)。今後に生かすため有効性、妥当性の検証作業、市民意見の聴取も行ってほしい。その他、新駅、武操跡地、駅南開発、県道整備等のプロジェクトに目配りし、市民が納得と感ずる市政の展開をお願いしておきます。



三輪野江小学校

## ◀平成22年度特別会計予算▶

国民健康保険特別会計	64億7,750万4千円	後期高齢者医療特別会計	3億801万7千円
下水道事業特別会計	11億4,000万8千円	水道事業会計	
老人保健特別会計	254万5千円	収益的収入	14億215万2千円
農業集落排水事業特別会計	3,458万2千円	収益的支出	13億7,038万2千円
介護保険特別会計	23億5,223万4千円	資本的収入	11億2,043万7千円
		資本的支出	12億6,046万4千円